

青森県海岸津波対策検討会（第5回）の議事概要について

日時：平成25年1月29日（火）15:00～18:00

場所：青森国際ホテル 2階「春秋の間」

出席者：佐々木座長、松富委員、南委員、小笠原委員、渋谷委員、成田委員（横森理事代理）、
佐藤アドバイザー

1 検討項目

① 津波断層モデルの検討

想定される津波断層モデルについて事務局から説明があり、検討した。

② 津波高の評価（最大クラスの津波と比較的発生頻度が高い津波の対象津波群の設定）

最大クラスの津波と比較的発生頻度が高い津波の対象津波群の設定および西津軽地域海岸の区分について事務局から説明があり、検討した。

③ 最大クラスの津波を対象とした津波浸水予測図について

東通村尻屋崎から深浦町までの区域において、本検討会の津波断層モデルによる数値計算を行い作成した津波浸水予測図について事務局から説明があり、検討した。

④ 設計津波の水位とそれを活用した計画堤防高の検証について

設計津波の水位とそれを活用した計画堤防高の検証について事務局から説明があり、検討した。

2 検討結果

① 陸奥湾沿岸の最大クラスの津波を発生させると想定される地震については、事務局が提案した入内断層モデルと平館断層モデルを採用することとし、数値計算を確認した。

津軽沿岸の最大クラスの津波を発生させると想定される地震については、事務局が提案したH24日本海側想定地震モデルを採用することとし、数値計算を確認した。

海底地すべりについては、新たな知見が得られ、定量的評価が技術的に確立された後に評価していくこととした。

② 最大クラスの津波と比較的発生頻度が高い津波の対象津波群の設定および西津軽地域海岸を七里長浜および西津軽地域海岸に分割する。

③ 津波浸水予測図については、事務局で作成したものを了承し、別紙のように各市町村の津波高、浸水域の概要をまとめた。

④ 陸奥湾沿岸と津軽沿岸について、設計津波の水位による計画堤防高の検証の結果、現計画堤防高を見直す必要がないとした事務局の提案を了承した。

別紙

最大クラスの津波を対象とした津波浸水予測図について

検討会において、以下の事項を確認した。

1. 津波高について

- 東通村では、太平洋側想定地震津波により決定され、3.6mから11.5mの津波高となっている。第一波到達時間は43分～53分となっている。
- むつ市（津軽海峡側）では、太平洋側想定地震津波により決定され、4.6mから8.3mの津波高となっている。第一波到達時間は52分～55分となっている。
- 風間浦村では、太平洋側想定地震津波により決定され、3.5mから11.3mの津波高となっている。第一波到達時間は52分～56分となっている。
- 大間町では、太平洋側想定地震津波により決定され、1.9mから5.9mの津波高となっている。第一波到達時間は津軽海峡側の下手浜で56分、平館海峡側で17分～23分と早くなっているのは、平館海峡想定地震津波が早いためである。
- 佐井村では、1.4mから5.5mの津波高となっており、最大の5.5mは平館海峡想定地震津波である。第一波到達時間は平館断層地震津波が早く、11分～19分となっている。
- むつ市では、平館断層想定地震の津波高が大きく、0.8mから3.4mの津波高となっている。第一波到達時間は9分～49分と幅があるが、これは震源である平館断層からの距離が影響している。
- 平内町では、入内断層想定地震津波により決定され、0.8mから3.3mの津波高となっている。第一波到達時間は10分～12分となっている。
- 青森市では、入内断層想定地震津波により決定され、1.1mから3.7mの津波高となっている。第一波到達時間は2分～11分となっており、震源である入内断層に近いほど、早くなっている。
- 外ヶ浜町（旧平館村）までは、ほぼ太平洋側想定地震津波により決定され、1.6mから2.7mの津波高となっている。第一波到達時間は日本海側想定地震津波が早く、39分～44分となっている。
- 今別町では、ほぼ日本海側想定地震津波により決定され、1.6mから3.8mの津波高となっている。第一波到達時間は34分～39分となっている。
- 外ヶ浜町（旧三厩村）では、日本海側想定地震津波により決定され、2.0mから5.9mの津波高となっている。第一波到達時間は26分～37分となっている。
- 中泊町では、日本海側想定地震津波により決定され、中泊町褰内～中泊町小泊崎は、3.4mから11.5m、小泊崎～折戸は、3.4mから7.7mの津波高となっている。第一波到達時間は23分～27分となっている。
- 五所川原市では、日本海側想定地震津波により決定され、4.4mから7.5mの津波高となっている。第一波到達時間は26分となっている。
- つがる市では、日本海側想定地震津波により決定され、6.0mから7.7mの津波高となっ

ている。第一波到達時間は24分～25分となっている。

- 鱒ヶ沢町では、日本海側想定地震津波により決定され、3.1mから8.1mの津波高となっている。第一波到達時間は21分～24分となっている。
- 深浦町では、日本海側想定地震津波により決定され、3.2mから10.7mの津波高となっている。第一波到達時間は11分～22分となっている。

2. 各市町村の浸水予測計算結果について

○東通村

ほとんど海岸沿いでの浸水となっているが、野牛川沿いでは約2km上流まで浸水する結果となっている。また、入口及び石持納屋地区で一部5m以下の浸水深となっている。

○むつ市（津軽海峡側）

出戸川、正津川、大畑川河口周辺で浸水域が大きくなっており、一部、国道279号線より陸側に浸水する地区がある。

○風間浦村

国道279号線が浸水し、下風呂地区で10m以下、易国間地区、蛇浦地区で5m以下の浸水深となっている箇所がある。

○大間町

大間崎から東側で浸水域が大きくなっている。また大間港と奥戸漁港が一部浸水する結果となっている。

○佐井村

佐井漁港が一部浸水する結果となっているが、その他は、ほとんど海岸線のみが浸水する結果となっている。

○むつ市

旧脇野沢村～旧川内町～むつ市にかけては、海岸線のみ浸水域となっている。

○青森市

浅虫地区のヨットハーバーや海水浴場区域が浸水し、国道4号から鉄道までの一部区域が1m以下の浸水深となっている。また久栗坂、野内、原別の各地区でも、1m以下の浸水域がある。青森市街地では、国道4号から下流の堤川区域において1m以下の浸水域があり、八甲田丸地区でも一部1m以下の浸水域となっている。

油川地区でも浸水域があるが、ほとんど30cm以下の浸水深である。

○外ヶ浜町

ほとんどが海岸線のみ浸水となっているが、増川地区において、海岸を埋め立てした区域が1m以下の浸水深となっている。

○今別町

村元地区及び浜名地区で一部浸水する結果となっている。

○中泊町

ほとんどが海岸線のみ浸水となっているが、小泊川河口の小泊地区が大きな浸水域となっており、一部5m以上浸水する箇所もある。

○五所川原市

脇元地区、磯松地区で浸水しており、十三湖までの砂浜に沿って浸水している。

○つがる市

水戸口から十三湖を遡上し上流まで浸水する結果となっており、山田川に沿っても若干の浸水域がある。また七里長浜の砂浜に沿って浸水域が続いている。

○鱒ヶ沢町

七里長浜の砂浜に沿って、浸水域が続いているが、七里長浜港南側の鳴沢川河口において浸水域が大きくなっている。また中村川河口で浸水域が大きく、また西側の漁師町まで浸水域が連続している。

○深浦町

赤石川右岸で浸水域が大きくなっている。また北金ヶ沢地区が大きく浸水しており、5m以下の浸水深となっている。

秋田県境までは、岩礁海岸に沿って浸水域が続いているが、追良瀬川や吾妻川等の河口部で浸水域が大きくなっている。

3. 浸水予測結果の色表示について

浸水深と色表示の関係について、

20m 以上は紫色、

10m 以上は赤紫色、これは3階建あるいは3階部分が水没するという深さ、

5m 以上は赤色、これは2階建あるいは2階部分が水没する深さ、

2m 以上は桃色、これは木造家屋がほとんど全壊、

1m 以上は橙色、これは人が津波に巻き込まれた場合亡くなるという深さ、

0.3m 以上は黄色、動くことができなくなるという深さ、

0.3m 未満は緑色。